2015 年度 関西学院大学自己点検・評価
＜関西学院全体C票＞学外第三者評価結果 【関西学院大学全体】

1. 教育研究目標1「全ての学生に対する質の保証」に関するC票ついて

評価コメント	
評価者A	この下位目標として(1)教育力の強化、(2)共通教育科目の質的転換、(3)語学能力の向上、(4)海外派遣、国際協力プログラム参加者の積極的拡大、(5)教育の内部質保証システムの構築を掲げ、6年後を目指した目標と、目標達成度の評価指標、年度ごとの目標値、それを実現するための行動計画が示されている。帳票全体の構成については、特に問題はないが、(1)教育力の強化に関しては、教員の資質の向上について FD の充実が挙げられてはいるが、教員の教育力評価について事項として挙げられていないのが気になる。 学生の授業外学習時間の増加については、45時間の学習に対して1単位が与えられるという単位制度の根幹にかかわるものであるだけに、6年後を待つまでもなく早急の対応が必要である。15時間の授業時間のみの学習で1単位を与えているとすれば、厳しく言えば、それは大学設置基準の違反である。1単位の認定のためには、45時間の学習が必要であることを、シラバスに明確に記載するとともに、予習・復習を前提とする授業方法の改善がなければ、違反状態の解消は覚束ない。授業計画書であるシラバスは、教員と学生の授業に関する契約書としての意味合いもあり、それを相互に遵守する義務があることを教員は勿論のこと、学生にも徹底する必要がある (5)教育の内部質保証システムの構築とは、教育活動における PDCA サイクルを円滑に機能化させるための仕組みを構築することである。目標・計画の設定段階、実施・実行段階、点検・評価段階、改善・改革段階のいずれにおいても、エビデンスを基にした検討が必要である。近年、教育の質保証のためには教育の成果指標となるラーニング・アウトカム重視の声が高いが、教える側にとってアウトカムは、教育活動の有効性を評価する手段であり、教育の内部質保証のためには、アウトカムとプロセスやインプットとの繋がりを関係者が的確に理解できることが重要である。その意味でも、学生のポートフォリオのみならず、ティーチング・ポートフォリオも内包したポートフォリオ・システムの開発は注目に値する。
評価者B	(1)① シラバスに授業時間以外の学習内容を書くことの意味は何なのでしょうか。必要なのは、シラバスに書くことでなく、授業時間以外の学習が必要な授業を行うことです。行動計画としては、これで良いのかも知れませんが、書いたことが実行されないと意味がないと考えます。 (2) プログラムの実施はインプット指標です。中期計画の目標として、せめてアウトプット指標の採用が望まれます。行動計画③は、誰が受けるかが重要です。管理職登用者の受講状況を見ることが望まれます。 (3)② フランス語等の評価指標については、残念ながら、何のための教育かの理念が見えません。達成目標も、「導入と機会の提供」で終わらず、一歩進めることが期待されます。 (4)①(a) 国際交流機構のところでも議論したいと思いますが、2300 人は学部学生の 10%としての意味はあるとしても、1320 の根拠は何なのでしょうか。また「留学」と呼ぶ海外体験は、どのくらいの期間が必要だと関学では考えられているのでしょうか。①(b)では、なぜ 50 人が目標になるのでしょうか。
評価者C	(1)教育力の強化 ①授業外学習時間の増加 →意欲的な目標設定であり、今後の進め方が注目されます。 ②FD・SDの充実 →行動計画①、②の評価尺度がアウトプット評価にしては差がつかない設定なので、達成度、内容の充実度など、定性評価でもよいのでアウトカム評価にしてはいかがでしょうか。 ③学習者支援システム促進 →LMS 導入比率の目標設定が 50%(2021 年度)とは、水準が低いと思われます。また行動計画①、②の評価指標の目標値が現状維持のままであり、こちらもできればアウトプット評価の見直しをはかっていただければと思います。 (2)共通教育科目の質的転換 ①全学的アクティブ・ラーニング(ハンズオン・ラーニング)の推進 →意欲的な目標であり、目標値の水準も高く(実施率が 2021 年度で 90%)、今後その成果も含めて非常に期待

	されます。 (3)語学能力の向上 ①英語教育の充実 →目標が具体的であり、評価できます。 ②各外国語(フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語)教育の充実 →他大学との差別化になる目標となっており、評価できます。 (4)海外派遣、国際協力プログラム参加者の積極的拡大 ①協定校への派遣、国際プログラム参加拡充 (a) 国際教育の全学的施策の立案と実施 →具体的な目標設定となっており、評価できます。 (b) 国際協力に関する実践的なプログラムの開発、提供 →目標値が低く(50 名止まり)、発展性に欠けるようにみえますが、拡大していく余地はないのでしょうか。 (5)教育の内部質保証システムの構築 ①教学IR機能の充実 →意欲的な目標設定となっており、今後の成果が期待されます。 ②ポートフォリオシステムの開発 →こちらも今後の成果が期待されます。
評価者D	・質保証としての行動計画としては、重点化できているものと評価したい。特に学生の授業外学習時間の増加などを数値化していることは今後期待したい。今後これらの行動計画を学部や教員に落とし込むことができるかがポイントとなると思われる。 ・FD、SD の充実に当たっては人事評価上、各人や部署の取り組みを明確化できるような仕組みの導入など検討できないか。活動の発信も各学部や部署がどのような取り組みをしているか、各人が刺激を受けるような内容を期待したい。
評価者E	P1 「授業外学習時間の増加」については、シラバス改修の他に、教育方法の改善などへの取組みも必要ですが、この点の検討が望まれます。 P2 6年後の目標は、「検証・見直しの程度」ではなく、「FD、SD そのものの充実度」ではないでしょうか。行動計画②については、さらなる改善目標の設定が望まれます。 P4 「学習者支援システム促進」の記述は、明快です。ただ、行動計画②では、講習会開催を更に進めた周知作業の検討が求められます。 P5 「アクティブ・ラーニングの推進」の記述は明快です。更なる全学的推進が期待されます。 P6 「英語教育の充実」の記述は、明快です。 P8 「各外国語教育の充実」への取り組みは、意欲的です。 P11 「国際協力に関する実践的プログラムの開発、提供」とありますので、参加者数拡大に加え、プログラム開発への取組みが望まれます。 P12、P13 教学 IR、ポートフォリオシステムについては、作業日程ではなく、目標値の設定が望まれます。

2. 教育研究目標2「研究支援の充実と成果の社会還元及び社会連携の強化」に関するC票について

評価コメント	
評価者A	（1）研究支援体制の充実、（2）産学連携、技術実用化促進、）3）社会連携推進体制の整備、（4）研究所の活性化、（5）研究費適正使用と研究活動の確保に向けた研究環境整備、（6）大学院の充実が、下位目標として挙げられている。いずれも重要な目標ではあるが、研究活動の活性化のためには、研究成果の公表、競争的資金獲得に向けた研究グループの編成と活性化、教員の研究業績評価など、支援を受ける教員の研究活動の強化策が検討されるべきである。文系学部の多い貴学にあっては、産学連携・技術実用化などへの関心はそれほど強くはないかもしれない。しかし、社会への貢献を大学の究極の使命として考えている貴学としては、すべての分野の研究者に等しく機会提供がなされている科学研究費補助金の申請率を100%にするなど、具体的な目標を掲げると同時に、研究成果の社会に対する発信機能を更に高める必要がある。 大学院の充実が下位目標として挙げられているが、C 票には全く記載がなく、これを見る限り、どこまで大学院の整備の重要性を認識しているか疑問を抱かざるを得ない。大学院の学則も、博士課程前期に「精深な学識」などといった古色な表現が依然として残っており、おざなりな印象を拭えない。大学院問題はすべて各研究科任せといった大学の姿勢では、大学院の充実を述べた中教審答申を尊重し、独自な教育課程である大学院の充実に責任を持っている大学の姿勢としては問題がある。学士課程という表現が用いられるようになった背景には、学士課程においては基礎的・一般的な教育を中心に置き、専門教育は主に大学院で行うという相対的な役割分化の流れがあることは事実である。専門教育より人格教育を主座におくことに徹すれば別であるが、貴学が今後、我が国における私学の雄として存在感を高めるためには、大学院の充実に向けた真剣な議論が求められる。
評価者B	アウトプット指標は産学協力のプロジェクト数しか見られません。アウトカム指標は難しいとしても、アウトプット指標の採用が望まれます。
評価者C	（1）研究支援体制の充実 →改善の計画ができているようなので、今後の進捗に期待します。 （2）産学連携、技術実用化促進 →業務量の適正化に向けた計画、予算化は今度の課題ということでしょうか。 （3）社会連携推進体制の整備 →体制を整備するという記述にとどまらず、成果（ハンズオン・ラーニングは教育研究目標1に記述あり。社会連携は（2）産学連携・技術実用化だけでしょうか）が何かをあげていただければと思います。 （4）研究所の活性化 →目標が定量的に明示されており、まずはその達成に向けて改善を進めることが期待されます。 （5）研究費適正使用と公正な研究活動の確保に向けた研究環境整備 →シンプルに行動計画と目標設定が定量的に明示されており、評価されます。
評価者D	・研究支援体制の充実は喫緊の課題であるように思われる。達成度評価として経理業務にかかわるエフォートがあげられるがこれはあくまで一時的なものであり、研究者のニーズにいかにこたえられるような組織・人員にしていくかが重要ではないか。 ・社会連携センターについては、地域社会との連携は重要だが、学生と連携しより社会との連携を広域的にやっていくことが社会から要請されているのではないか。より社会との接点を増やして社会連携プログラムを提案していってもらいたい。結果として企業などからの寄付を増やすことにもつながる可能性もある。
評価者E	研究推進社会連携機構作成の C 票と同じ内容ですが、大学全体としては、機構とは異なった観点から記述することが求められます。

3. 教育研究目標3「キャンパスのグローバル化の推進」に関するC票ついて

評価コメント	
評価者A	（1）国際連携・交流ネットワークの形成、（2）外国人留学生に対する修学環境整備を下位目標としているが スーパーグローバル大学創生支援事業（SGU）における目標と計画の実施に関する内容のものになっている。その意味では、構想調書に沿った形で目標が設定され、進捗状況をチェックできる仕組みになっている。しかし、SGU は、教育の国際化推進を目指した事業であり、研究の国際化・研究者交流を目指したものではない。支援事業が終了した後でも、貴学は保有する資源を最大限活用して事業継続を行う覚悟があるのか、年次目標の達成度は確かな見積もりに基づくものなのか、2019年に予定されている中間評価に耐えられるものなのか、現状から推察すると、これらをクリアーするためには、其れ相当の準備が必要であろう。
評価者B	再掲になりますが、2300 人は学部学生の 10%としての意味はあるものの、1320 の根拠は何でしょうか。また「留学」の期間はどうなっているのでしょうか。 混住型寮の居住留学生数の 36 人は少なすぎないでしょうか。 キャンパスのグローバル化に関しては、教員のグローバル化（出身国、留学・研修）を含めることが求められます。
評価者C	(1)国際連携・交流ネットワークの形成 ①世界の大学・教育研究機関、国連、国際機関等との連携、交流強化 (a) 海外大学・機関との協定、学術交流、学生交流等の推進 →評価指標として海外協定大学数だけでなく、協定大学への派遣数を設定してもよいと思われます。 (b) 国際機関、国際 NGO 等との連携強化 →目標値の提携機関数が 17 となっているが、これは現状値なのか、最終目標値なのかが不明でした。なお、<u>提携機関数は協定大学数とは違って、それ程大きく変化しないのであれば、連携強化を表す別の評価指標も検討に値すると思われます。</u> ②留学生数の拡大と受入プログラム、日本語教育の強化・拡充 (a) 国際教育の全学的施策の立案と実施 →海外への派遣学生数と受入留学生という明確な定量的な目標設定がなされたことは評価されます。 (b) 日本語教育の全学的施策の立案と実施 →留学生の満足度の調査方法の確立が今後、期待されます。 (2)外国人留学生に対する修学環境整備 ①混住型国際教育寮の拡充 ②留学生パートナー制度の整備 →寮の設置ができたらお終いというのではなく、その次にくる施策の立案を検討すべきと思われます。
評価者D	・国際連携の提携機関数は17と目標値が変更ないが問題ないか？評価尺度と目標値が整合しているのか？ ・スーパーグローバル大学創生支援事業を契機に国際化を進められるチャンスであり、定量的な目標を達成していってもらいたい。<u>今後はより質を重視した取組も期待したい。</u>
評価者E	目標と行動計画の構成について、再考することが望まれます。 P22 と P10 が重複していますが、再掲の注釈を記載するなどの整理が望まれます。

4. 教育研究目標4「総合的な学生支援の実現」に関するC票について

評価コメント	
評価者A	（1）総合的な学生活動支援の拡充、（2）スポーツ・文化活動等と勉学の両立を目指す支援強化、（3）奨学金制度の充実が下位目標に挙げられているが、（1）（2）は、スクールモットーを体現するための重要な活動を支援しようというものであり、とりわけ、ボランティア活動に対する積極的な支援は、同活動の教育的な価値を重んじている貴学の特徴の反映と考えられる。しかし、勉学は正課で、自発的な学生の活動は正課外という古典的な位置づけは変わっていないように見受けられる。正課と正課外という区分が、貴学の教育理念と照らして妥当なものであるかどうか、改めて検討する必要がある。
評価者B	(1)①(a)　面談室の数値目標は。これから検討しないと、掲げられないのでしょうか。 (2)①　研修会の参加団体数はインプット指数です。団体数の少ない私の勤務校では、全団体が研修会に参加していますが、それで問題が解決している訳ではありません。参加してから団体生活に反映されるかどうかが問題であり、よりアウトプット・アウトカムに近い指標が望まれます。また、行動計画⑤の数値目標の意味が理解できません。 (3)　行動計画②入学率が指標になる理由が理解できません。
評価者C	(1)総合的な学生活動支援の拡充 ①学生相談や発達障がい、障がいを持つ学生への総合的な支援体制の拡充・整備 (a)　学生支援相談室の面談環境の改善 →背景から判断すると、もう少し早期の実現を目指すべき課題と考えられます。 (b)　学生による自傷他害などの緊急事態への対応及び多様化する発達障がいのある学生への対応 →こちらは運用の工夫などでの対応の可能性もあるため、他大学の実態調査などを踏まえて、十分な検討を行うことが期待されます。 (c)　障がいを持つ学生への支援体制の拡充 →「新たな支援内容」は関学の現状に合わせて具体的に検討していくことが求められます。 ②安全・安心で快適な学生生活を送ることができる環境の整備 (a)総合的なキャンパス環境の整備・拡充　※来年度以降行動計画検討 (b)学生・教職員のマナーやコンプライアンス意識の向上による安全・安心で快適な環境の推進 →「教職員への伝達状況」は、どのように測定するのかを具体化することが求められます。 (2)スポーツ・文化活動等と勉学の両立をめざす支援強化 ①課外活動の教育的価値を踏まえた指導・育成・活動環境の整備・拡充と活性化 →コンプライアンス、危機管理等、カバーする領域は広いので、研修等で用いる教材等の充実も期待されます。 ②ボランティア活動環境の整備と活性化″ →スクールモットーとの関係から、重要な施策として推進されることが期待されます。 (3)奨学金制度の拡充 →奨学金は大学の一つの差別化要素となってきており、他大学の動向も踏まえた制度の充実が期待されます。 (4)個性・能力にあったキャリア教育と就職支援の充実 ①学生の満足度向上 →成果としての満足度等の目標達成も重要だが、その背景にある大学の施策の効果の検証と改善（いわゆるPDCA サイクルの確立）にも十分、留意する必要があります。

評価者D	・学生支援室の面談環境、総合的な支援体制については、2021年度に大学評議会に提案とあるが、もっとスピード感をもって対応していく課題ではないか。 ・障がい者の対応でコーディネーターの研修が目標化されているが、達成が容易な目標となっていないか。 ・学生・教職員のマナーについては、評価尺度をもう少し意欲的に設定できないか。2014年より増加するというのが目標値になっている等。 ・ボランティア活動支援センターの設立が目標値になっているが、設立はあくまで手段であり、ボランティア活動件数などの目標も設定できないか。
評価者E	P26～P28 「6年後の目指す姿」については、達成度評価指標評価尺度、目標値について、研究することが求められます。 P27 行動計画の目標値については、研修会への参加回数のほか、数値化できる目標値を研究することが望まれます。 P29 マナーやコンプライアンス意識の向上は、現代の大学において重要な事柄であり、全体的に分かりやすく整理されていますが、行動計画①は、数値化できる目標値の設定が望まれます。 P30 目標に記述されている「研修会参加団体数の増加」は、行動計画における目標値の方にふさわしいと思われます。行動計画として、5つの事柄が挙げられていますが、その内容、性質に従って、再検討することが求められます。 P32 ボランティア活動の活性化という目標の下、数値化できる行動計画を検討することが望まれます。 P33 目標の達成度評価や評価尺度は、数値化できる指標を用いることが望まれます。また、行動計画では、申請者でみるのか、受給者数でみるのか検討することが望まれます。 P34 行動計画では、学生の満足度が記載されていますが、大学執行部の行動についての計画を示すことが望まれます。

5. 教育研究目標5「高大接続の推進」に関するC票ついて

評価コメント	
評価者A	高大連携と入試改革の推進は、現在の大学改革の焦点の一つであるが、中教審の議論を見ても、必ずしも見通しは明確ではない。学力三要素を多元的に評価する入学試験を導入するには、これまでの方法を大きく転換するためには、かなりの準備と検討が必要である。入試は、公正性と透明性が重要であり、合否判定の基準が明確に示されていなければならない。多元的評価を基本とした入試制度が、それに耐えられるものであるかどうか、各大学は、多元性と公正性の同時的解決を求められている。アメリカの大学のように、アカデミック・アチーブメント、ソーシャル・アクティビティ、シティズンシップの三側面を等価に評価する入試制度が我が国で定着できるかどうかは、貴学のような世界に開かれた理念を掲げる私立大学の先導的な実施に期待するところが大きい。
評価者B	これから検討なさる入試改革の意味について、意見交換をお願いしたいと思います。
評価者C	(1)高大連携と入試改革の推進 ①学力の3要素を多元的に評価する入学試験の改革 →入試制度導入まで 5 年を要するため、その間の進捗管理に留意することが求められます。(中間答申のタイミングなど、より具体的なスケジュールの設定など) ②高大連携を通じた円滑な進学促進 →目標の上限が 40 校となっていますが、その根拠は何でしょうか。また 40 校に達して以降の目標はありますか。
評価者D	・高大接続の件数が評価尺度となっているが、人的資源に限りがあるということから、定量的な目標には限界がある。40校の高校とどのようなプログラムでどのくらいの高校の先生や学生から満足度を得たのかなど、設定することができないか？
評価者E	P35　入試改革の具体像が浮かんできません。 P36　高大接続の目標が具体的によく分かりません。「6年後の目指す姿」と「行動計画」において、目標値をどのように設定するかの検討が求められます。

6.「内部質保証」に関するC票について

評価コメント	
評価者A	大学設置基準の大綱化に伴い、大学の質保証は、第三者である認証評価機関にその役割が期待されてきた。しかし、自主・自律を掲げる大学は、第三者評価を待つまでもなく、自らの責任で大学の諸活動についての点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努め、それを通じて、大学の質を自ら保証することが強く求められている。これが「内部質保証」という言葉の意味である。この内部質保証を実質化するためには、品質管理の手法として考えられてきたPDCA サイクルを大学の質保証の手法として転用し、大学の諸活動を、計画・実行・評価・改善の各段階に区分し、各段階を適切に機能させるとともに、それぞれの段階が相互に連動しながら一連のプロセスとして機能し、しかも、絶えずスパイラル・アップできるような恒常的な仕組の整備が求められている。このような大学の質の保証を可能にする仕組を「内部質保証システム」と呼んでいる。 内部質保証に関する評価のポイントとしては、(1)自己点検・評価と内部質保証の意味の違いが適切に理解されているか、(2)大学の諸活動の質の保証のためには、大学の諸活動をPDCAの枠組みで捉えることの意義が理解されているか、(3)PDCAサイクルが適切に機能できる恒常的な仕組やガバナンス体制が整備されているか、(4)質の維持・向上に向けた大学の努力の現状を公表し、社会に対する説明責任を果たしているか、などが挙げられる。 PDCA に特化した評価の視点としては、(1)方針や目標が適切に定められ、それを実現するための行動計画が立てられているか、(2)計画に基づいて目標管理型の業務執行が行われているか、(3)活動状況を定期的に点検・評価し、その結果が構成員にフィードバックされているか、(4)評価結果を基に適切な改善措置が講じられているか、などの段階的な評価の視点が求められる。それに加え、内部質保証において特に重要なことは、質の向上に向けた努力を可能にする管理運営システムが整備され、機能しているかどうかといった視点である。貴学の帳票は、目標の設定、行動計画、定期的な評価、改善の方策などが適切に組み込まれており、それなりの工夫が認められるが、PDCAサイクルを円滑に駆動させるためのガバナンス体制の整備状況は不明である。
評価者B	このような精緻な評価の体系を、熟慮の結果として構築したことは評価できます。
評価者C	大学は評価期間が長期にわたる(今回の関学の場合は 2021 年度までの 6 年間)ので、ともすると次第に形骸化していく恐れがあります。今回の評価体系において、「自己点検・評価の目標は、環境変化等に応じて適宜見直すことができるものとする」という方針を示したことは、意義があると評価できる一方で、運用に負荷がかかることを意味しています。今後、自己点検・評価をさらに継続していく中で、適切な運用のあり方を模索していくことが求められます。 「全学の理念・目的等の実現に向けた教育研究目標を設定し、その達成に向けた行動計画を策定する」という流れで整理したことにより、関学の各分野での基本的な考え方、方針の有無、具体性が明確になってきたと考えられます。 次の重要な検討課題としては、国際通用性のある評価制度がその一つだと考えられます。一方で、「総合学園にふさわしい学校評価システム」という行動計画の意図がわかりづらかったのですが、小学校から大学までを有している中での各学校間の連携を重視するという意味合いでしょうか。
評価者D	・今回から構築した評価システムを機能させることに積極的にかかわり、提言していってもらいたい。

評価者E	行動計画は、1 自己点検評価の質向上プロセスの完成、2 ガイドラインの策定、3 第三期認証評価での高評価の獲得、4 学内データの体系化、5 理解促進、人材育成、6 評価制度等の調査研究、7 総合学園にふさわしい評価システムの検討 となっています。 上記7つの行動計画は、内部質保証の基本的骨組みを取り上げていますが、他の部局での取り上げ方とは、異なっています。 また、ほとんどの行動計画において数値化できる目標値ではなく、作業工程表の記述となっています。 行動計画では、どのような評価指標、評価尺度を取り上げるのか、今後、検討が望まれます。

7. C票全体ついて

評価コメント	
評価者A	教育研究目標と行動計画は、大学が直面している課題を整理し、当面の戦略目標を知るうえでは有効であろう。しかし、これを実行するためには、掲げられている全学的な課題を、各学部および構成員が共有し、実践できる仕組みを構築することが必要である。そのためには、教育研究目標と行動計画を、部局単位の目標・計画に落とし込み、さらに可能であれば、構成員個人レベルにまで具体化する必要がある。目標と計画を階層的に構造化して示すことができれば、掲げた教育研究目標と行動計画のリアリティが高まり、それだけ実現の可能性も高まるものと考えられる。全学的な数値目標は、それだけを示しただけでは、責任主体が曖昧になりがちで、構成員の達成に向けた活動を活性化できるかどうか疑わしい。教育研究目標と行動計画を、全学レベル・部局レベル・個人レベルの三層構造に整理して、再提示することを提案したい。
評価者B	インプット指標が数多くみられます。行動計画についてはインプット指標で支障ありませんが、成果目標としてはアウトプット、アウトカムの指標の採用が望まれます。 貴学には、成果目標としてのアウトプット指標、アウトカム指標の開発でも、嚆矢となっていただきたいと考えます。
評価者C	単純かつ安直な定量的な指標が設定されているケースが散見されます。 目標値が一定の年度が繰り返されていくということでは原則、意味がないわけであり、以下のような観点での補足が求められます。 ■状況の改善、質の向上がモニタリングできるような成果指標を併せて設定する。（定性的な指標もあり得ます） ■ある定量目標を達成した場合は、次のフェーズの目標を設定し直す。
評価者D	・今回の評価システムから、評価指標がより具体的に踏み込んでいる評価項目が多くなった印象で、進捗状況の見える化が進んだことにつながっているものと感じる。 ・個々の項目はそれぞれ目標として素晴らしいものがあるが、目標をすべて達成するためにはどの程度の人的・金銭的投資が必要なのかがあまり見えない。今後これらの目標を達成するためにはどの程度の人的・金銭的投資が必要かを明記してもらい、費用対効果を見えるような仕掛けにしてはどうか。その際には、それぞれの行動計画どうしが有機的に関連している項目もある可能性もあり、スクラップアンドビルドを意識した仕掛けが必要ではないか。
評価者E	C 票は、Ⅰ（タイトル）（狙い内容）、Ⅱ6年後の目標、背景等、達成度評価、年度毎の目標値、Ⅲ行動計画内容、達成度評価、年度毎の目標値という構成になっています。ⅠとⅡ、ⅡとⅢの間の記入すべき内容の区分がわかりにくいためか、記入者毎に記入事項に差がありました。ⅠⅡⅢ間の整理と、各部局への周知が求められます。 「表題」、（タイトル）、（狙い内容）への記入内容についても、記入者によってまちまちであり、各部局への周知が求められます。 また、Ⅱの目標値とⅢの目標値とでは、観点を異なるようにするなどの検討が求められます。目標値については、ABCD よりも、数字そのもののほうが、かえって理解しやすく感じます。また、例えば、授業外学修時間の増加のためには、シラバスの改善だけでなく、授業方法の改善などもありますが、これは数値化が困難です。このような数値化できないものについては、一定の目標を定め、それまでの到達度を％で表す方法も考えられます。 評価情報分析室作成の C 票の P38 「年度毎の目標値」の下に、作業工程表が付属していますが、他の部局でも、数値の代わりに作業工程を記入するケースがありました。数値の記載欄に加え、作業工程表の記載欄が必要かどうかについて検討が望まれます。

8. 今回の自己点検・評価の実施方法、帳票、第三者評価等の取組みに関するご意見

評価コメント	
評価者A	教育研究目標と、それを実現するための行動計画、年次目標の設定、達成度評価の指標をもとにした自己評価など、この帳票を見れば、現状と課題が分かるように設計されている。問題は、このシートをどのように活用するかである。特に達成度が低いと評価された事項については、その原因の推定と改善方策の例示が必要である。そのための仕組みを整えなければ、点検・評価を改善に繋げることは難しい。点検・評価活動が改善とつながる可能性があることを信じるからこそ、構成員は煩雑な作業に耐えられる。認証評価に対応するためというだけでは、点検・評価作業を動機づけることは難しい。点検・評価の目的は、あくまでも、自己改革・自己改善の方向性を構成員が共有するためのものであり、法令によって義務づけられているから、仕方なしに行うというものではない。点検・評価の目的の徹底を図るとともに、評価結果を責任を持って改善につなげる管理運営システムの構築が必要である。 帳票を見て最も気になったのは、活動情報の公表が殆ど行われていない点である。このままだと点検・評価の結果は、評価関係者以外、ほとんど知る機会がなく、評価結果をもとにして、全学を挙げて改革・改善を行う大義名分を立てることすら怪しくなる。それにも増して問題なのは、情報公開は自主・自律を掲げる大学の社会的責任であるという意識が希薄な点である。質保証と説明責任が両輪として機能してこそ、大学が大学として存続できるのだという認識が必要である。このままでは、世界に開かれた大学を目指すという理念とは裏腹に、教員中心の閉鎖的な大学という印象を持たれかねない。
評価者B	野心的な取り組みとして評価できます。特に、外部委員を加え、個々に説明を行い、意見交換を行い、透明性、客観性を確保するよう配慮してある点は、優れていると考えます。
評価者C	従来と様式が大きく変更となっていますので、学内関係者多数からの意見を吸い上げて、コンセンサスを深めていくことが重要と考えられます。
評価者D	・まだ始まったばかりの取り組みであると思われるが、非常に工夫されていると思われる。これらの見える化によって一人でも多くの教職員の方が何等か刺激を受けるような議論をコーディネートしていってもらいたい。
評価者E	今回の自己点検評価については、関学として、熱心に取り組んでいることは、よく理解できます。 自己点検評価、認証評価について一般的に言えることですが、作業量が膨大であり、評価書も大部になることについては、不断に改善の余地があり、今後とも、作業の合理化・効率化に努めるとともに、評価書を簡潔で読みやすいものにすることが望まれます。

2015 年 1 月 22 日

2015 年度 関西学院大学自己点検･評価
＜C票＞学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

教育研究目標１

【（１）教育力の強化：①授業外時間学習時間の増加】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ ＦＤ実施体制及びシラバス整備体制は評価できます。
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われる。（評価者Ｂ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 「授業時間以外の学習時間が３時間以上」の設定は、現実的かどうか疑問が残ります。（評価者Ｂ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由： ・ シラバスの充実は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由： ・ シラバスへの記載によって実質的に学生の学習時間が増えるのかは疑問。（評価者Ｄ）
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ シラバスの充実は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画の内容は、妥当で適切であると思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当であると思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切であると思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（１）教育力の強化：②ＦＤ・ＳＤの充実】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・体系化されたＦＤ・ＳＤプログラムは評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切であると思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・体系化されたＦＤ・ＳＤプログラムは評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

・ＦＤだけでなくＳＤを含めた体系化に取組む姿勢は評価できる。（評価者Ｄ）

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 体系化されたＦＤ・ＳＤプログラムは評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ ニュースレターの早目な発行が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ より積極的な行動計画を設定することが望ましい。（評価者Ａ） ・ 行動計画の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 目標値の設定が低いように思える。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 行政職の積極的な受講が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　名	左記を選択した理由：
その他気づいた点： ・ ＩＢＡの科目が職員の研修の場としても活用されることは評価できる。（評価者Ｄ）	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 具体的評価指標を設定することが望ましい。（評価者Ａ） ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切であると思われます。（評価者Ｂ） ・ 2021 年度の受講者数目標か明示できないか。（評価者Ｄ）

【（１）教育力の強化：③学習者支援システム促進】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ ＬＭＳの利用状況は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点： ・ ＬＭＳの利用状況の数値の算出根拠が気になります（あまりに高い数値なので）。（評価者Ｂ）	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ もう少し高い目標設定でも良いのでは？（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・ ＬＭＳの利用状況は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ ＬＭＳの利用状況は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ ＬＭＳの利用状況は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（２）共通教育科目の質的転換：①全学的アクティブ・ラーニング（ハンズオン・ラーニング）の推進】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・共通教育センターを中心とした計画は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・共通教育センターを中心とした計画は評価できます。各学部等の協力体制が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 共通教育センターを中心とした計画は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 共通教育センターと各学部の協力が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（３）語学能力の向上：①英語教育の充実】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・英語科目の集中化（言語教育研究センター）は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・英語科目の集中化及び習熟度別授業は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 習熟度別授業は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 英語科目の集中化は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標	＜評価者からのコメント＞

（行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ きめ細かなリメディアル教育は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（３）語学能力の向上：②各外国語（フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語）教育の充実】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・多様な学生のニーズに応える科目提供は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・留学生の導入や学生のニーズに応える科目提供は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 留学生との交流は実効的で評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切であると思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ インテンシブ・プログラムへの留学生導入は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 多様な学生のニーズに応える姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画④】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 多様な学生のニーズに応える姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画⑤】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 多様な学生のニーズに応える姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（４）海外派遣、国際協力プログラム参加者の積極的拡大：①協定校への派遣、国際プログラム参加拡充：(a)国際教育の全学的施策の立案と実施】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 世界市民育成に向けて、多様なプログラムを体系的に整備していることは評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・ 留学生（受け入れ・派遣）への積極的な姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 協定校拡大に対する積極的な姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 入試制度改革や短期プログラムの新規開発等は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（４）海外派遣、国際協力プログラム参加者の積極的拡大：①協定校への派遣、国際プログラム参加拡充：(b)国際協力に関する実践的なプログラムの開発、提供】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ＳＧＵ関連項目に対する全学的な協力体制は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・派遣先機関との良好な関係維持を期待します。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 派遣先機関との良好な関係維持を期待します。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（５）教育の内部質保証システムの構築：①教学ＩＲ機能の充実】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・質保証に重要なＩＲデータ分析に期待します。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・判断できない。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・判断できない。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由： ・ＩＲデータ分析システムの開発は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由： ・ＤＢの構築とガイドラインの策定だけでは、教育プログラムに還元できないと思うから。（評価者Ｄ）
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞
・最終的な運用体制の速やかな構築が望まれます。（評価者Ｂ）

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 質保証に重要なＩＲデータ分析に期待します。
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由： ・ 評価指標（尺度）と年度毎の目標値との整合性が求められます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 年度ごとの目標値と評価指標（尺度）は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・ 評価指標（尺度）と年度毎の目標値との整合性が求められます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 年度ごとの目標値と評価指標（尺度）の整合性が求められます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（５）教育の内部質保証システムの構築：②ポートフォリオシステムの開発】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由： ・
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・ポートフォリオに関する全学的統一見解を、どのように構築するかについての方針（考え方）が求められます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ポートフォリオに関する解釈の統一方法についても指標設定が望まれます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ポートフォリオに関する考え方の統一から始める必要があると思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由： ・
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由： ・ポートフォリオに関する考え方の統一が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　１名	左記を選択した理由： ・
「具体的でない」　　１名	左記を選択した理由： ・ ポートフォリオに関する考え方の統一が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ まず、ポートフォリオの統一的見解を確立することが望まれます。（評価者Ｂ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ ポートフォリオの統一的見解の確立についての指標設定が望まれます。（評価者Ｂ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ ポートフォリオの統一見解の確立が望まれます。（評価者Ｂ）

2015 年 1 月 22 日

2015 年度 関西学院大学自己点検･評価
＜C票＞学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

教育研究目標２

【（１）研究支援体制の充実】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 業務分担の見直しにより、さらなる支援充実を目指す姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・ 業務の効率化による支援拡大は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 業務の効率化による支援体制充実は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 業務の効率化による支援体制充実は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ ＰＤＣＡサイクルの確立は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（２）産学連携、技術実用化促進】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・学内シーズの発掘、確保への姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・行動計画②における指標が曖昧と思われる。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・学内シーズの発掘、確保と学外発信の姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 学内シーズの発掘、確保と学外発信の姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由： ・ 支援体制の充実は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・ 整備が何を意味するのかが曖昧である。（評価者Ｄ）
その他気づいた点： ・ 事務体制は全学的な観点で決定される可能性が高く、実現するか否かが懸念されます。（評価者Ｂ）	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 曖昧である。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【（３）社会連携推進体制の整備】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ハンズオンラーニングの推進体制の確立が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点： ・人事政策は全学的観点で決まるため、要望通りになるかが懸念されます。（評価者Ｂ）	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・学内関連部局との良好な関係が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 業務の効率化等の努力も期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 役割分担の明確化と人員の確保がつながらない。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 業務の効率化等の努力も期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 明確化＝アウトプットのイメージ。（評価者Ｄ）

評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ ②の評価指標は曖昧。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 関係部局との良好な関係構築が望まれます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（４）研究所の活性化】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・社会貢献のベースとしての研究所が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由： ・全学に開かれた研究所の存在が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 全学に開かれた研究所の存在が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 研究成果発表並びに社会貢献のベースとなり得る研究所が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ）

定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【（５）研究費適正使用と公正な研究活動の確保に向けた研究環境整備】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・各ガイドラインが、研究者とその研究を守るべきものであることが理解される広報が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成へのスケジュールが長すぎる。（評価者Ａ） ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・各学部等との連携および、研究者の理解が望まれます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 研究成果の公表、活用が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 少し長いかもしれない。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 何のためのコンプライアンス教育なのかを、研究者に理解してもらうことが期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）

評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 各学部等と連携し、実質的なモニタリングが期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（６）大学院の充実】

来年度以降、目標設定、行動計画の策定を行う。

2015 年 1 月 22 日

2015 年度 関西学院大学自己点検･評価
＜C票＞学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

教育研究目標３

【（１）国際連携・交流ネットワークの形成：①世界の大学・教育研究機関、国連、国際機関等との連携、交流強化：(a)海外大学・機関との協定、学術交流、学生交流等の推進】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 定量的な指標を基に、ＳＧＵ事業の成果目標達成が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・ 協定校拡大にあたり、積極的な情報収集と現地訪問が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 協定校拡大にあたり、積極的な情報収集と現地訪問が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（１）国際連携・交流ネットワークの形成：①世界の大学・教育研究機関、国連、国際機関等との連携、交流強化：(b)国際機関、国際 NGO 等との連携強化】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 現状維持の確保が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点： ・ ６年後の目標『･･･海外教育機関との提携数を確保する』は、『提携数を維持する』の方が誤解を生まないと思われます。（評価者Ｂ）	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ より積極的な目標設定が望まれます。（評価者Ａ） ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 現状維持を目標としており、設定された評価尺度では少し違和感があるように思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由： ・ 現状維持の確保が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由： ・ 提携内容を充実させる行動計画が望まれます。（評価者Ａ）
その他気づいた点： ・ より積極的な行動計画が望まれます。（評価者Ａ） ・ 現状維持を目標とした場合の評価尺度に違和感があるように思われます。（評価者Ｂ）	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　２名	左記を選択した理由： ・ 現状維持の確保が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　１名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ より積極的な行動計画が望まれます。（評価者Ａ） ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 現状維持を目標としており、設定された評価尺度では違和感があるように思われます。（評価者Ｂ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【（１）国際連携・交流ネットワークの形成：②留学生数の拡大と受入プログラム、日本語教育の強化・拡充：(a)国際教育の全学的施策の立案と実施】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・世界市民育成に向けて、定量的な指標と積極的な施策は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は定量的で妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・積極的な施策対応で、成果が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 積極的なプログラム開発や部局間協力により成果が期待できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は定量的で妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 入試制度改革やプログラム開発等、積極的な施策は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は定量的で妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（１）国際連携・交流ネットワークの形成：②留学生数の拡大と受入プログラム、日本語教育の強化・拡充：(b)日本語教育の全学的施策の立案と実施】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・留学生の多様なニーズに、積極的に対応しようとする姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・2017 年度以降の目標値については、出来るだけ早い時期の設定が望まれます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・留学生の多様なニーズに、積極的に対応しようとする姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 留学生の多様なニーズに、積極的に対応しようとする姿勢は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 2017 年度以降の目標値については、出来るだけ早い時期の設定が望まれます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【（２）外国人留学生に対する修学環境整備：①混住型国際教育寮の拡充、②留学生パートナー制度の整備】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ ＳＧＵ事業目標達成に向けての積極的な支援体制は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点： ・ 年度毎の目標値はＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄで表現した方が良いように思う。（評価者Ｄ）	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は定量的で妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・ 定量的な評価指標を基に、積極的な対応は評価できます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 定量的な資料に基づく積極的対応は評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点： ・ 具体的な取得計画策定が望まれます。（評価者Ｂ）	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は定量的で妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われますが、混住寮取得の計画（建設等）の明示が望まれます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ パートナー制度は、留学生、在学生のどちらにもメリットがあり評価できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は定量的で妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

2015 年 1 月 22 日

2015 年度 関西学院大学自己点検･評価
＜C票＞学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

教育研究目標４

【（１）総合的な学生活動支援の拡充：①学生相談や発達障がい、障がいを持つ学生への総合的な支援体制の拡充・整備：(a)学生支援相談室の面談環境の改善】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・施設面の環境整備以外の内容発掘が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容が、意欲的で妥当・適切か判断しかねます。（評価者Ｂ） ・客観的に見て妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由：
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由： ・目標設定を含め、再考が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　　１名	左記を選択した理由： ・ 目標設定を含め、再考が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 再考が望まれます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ やや長いか。（評価者Ｄ）

【（１）総合的な学生活動支援の拡充：①学生相談や発達障がい、障がいを持つ学生への総合的な支援体制の拡充・整備：(b)学生による自傷他害などの緊急事態への対応及び多様化する発達障がいのある学生への対応】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・緊急事態への対応及び障がいを持つ学生への適切な対応が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・他大学調査に時間がかかりすぎているように思われます。最終目標に向けての迅速化が望まれます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・緊急事態への対応及び障がいを持つ学生への適切な対応が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・緊急事態への対応及び障がいを持つ学生への適切な対応が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・他大学調査に時間がかかりすぎているように思われます。最終目標に向けての迅速化が望まれます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

【（１）総合的な学生活動支援の拡充：①学生相談や発達障がい、障がいを持つ学生への総合的な支援体制の拡充・整備：(c)障がいを持つ学生への支援体制の拡充】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・新法への対応及び学生のニーズに合った対応が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点： ・2015 年 12 月策定予定の基本方針は、どのようなものだったのでしょうか？（評価者Ｂ）	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・本学の特長を伸長させる内容である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・新法への対応及び学生のニーズに合った支援体制が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 新法への対応及び学生のニーズに合った支援体制が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・ 研修会等への参加が目標ではなく、その結果としてどのような支援体制を構築するかが望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 再考されることが望まれます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設	＜評価者からのコメント＞ ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（１）総合的な学生活動支援の拡充：②安全・安心で快適な学生生活を送ることができる環境の整備：(a)総合的なキャンパス環境の整備・拡充】

総合的なキャンパス環境（学修環境、キャンパス整備、研究環境、情報環境、図書館等を含む）に関する目標、行動計画の策定は次年度以降行う。

【（１）総合的な学生活動支援の拡充：②安全・安心で快適な学生生活を送ることができる環境の整備：(b)学生・教職員のマナーやコンプライアンス意識の向上による安全・安心で快適な環境の推進】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： 現状を考えると致し方ないとも思えますが、内容的に再考が望まれます。 ・（評価者Ｂ）
その他気づいた点： ・（狙い内容）に『迷惑をかける。かけられることがない環境を整える』となりますが、現状はどうなのでしょうか？また、『教職員の養成』とありますが現状はどうなのでしょうか？（評価者Ｂ）	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・再考が望まれます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由：
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由： ・再考が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・ 再考が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 再考が望まれます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・ 再考が望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 再考が望まれます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥	＜評価者からのコメント＞ ・ 妥当である。（評価者Ｄ）

当か。）	
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（２）スポーツ・文化活動等と勉学の両立をめざす支援強化：①課外活動の教育的価値を踏まえた指導・育成・活動環境の整備・拡充と活性化】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・課外活動をベースとした指導・育成による人格形成等が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・課外活動を通じた人材育成が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由：
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・学生データの収集・管理方法や評価指標等を明確にされることが望まれます。（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・方策等を明確にされることが望まれます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・（研修を実施しようとする姿勢は理解できますが、目標となる成果を明確にされることが望まれます。）（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・（研修を実施しようとする姿勢は理解できますが、目標となる成果を明確にされることが望まれます。）（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・研修により期待される成果を明確にされることが望まれます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）

評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 研修により期待される成果を指標とされることが望まれます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 学生の危機管理意識の高揚が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画④】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 各クラブ並びに学生の危機管理意識の高揚が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画⑤】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・（学校評価の目標として適切かどうかを再考することが望まれます。）（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・（学校評価の目標として適切かどうかを再考することが望まれます。）（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 目標に関して再考されることが望まれます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（２）スポーツ・文化活動等と勉学の両立をめざす支援強化：②ボランティア活動環境の整備と活性化】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・さらなるボランティア活動の活性化が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・本学の特長を伸長させる内容である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・さらなるボランティア活動の活性化が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ さらなるボランティア活動の活性化が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 本学の特長を伸長させる内容である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（３）奨学金制度の拡充】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・（顕彰または経済的支援によるメリットが期待されますが、財政的裏付けが気にかかります。）（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・（顕彰または経済的支援によるメリットが期待されますが、財政的裏付けが気にかかります。）（評価者Ｂ）
その他気づいた点： ・財政的裏付けが気にかかります。（評価者Ｂ）	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます（財政的裏付けが前提となります）。（評価者Ｂ） ・本学の特長を伸長させる内容である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・顕彰または経済的支援によるメリットが期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・（評価指標で言う＜定員＞とは何を指すのか明確にされることが望まれます。）（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	・（評価指標で言う＜定員＞とは何を指すのか明確にされることが望まれます。）（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価尺度の「定員」の内容を明確にされることが望まれます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・（内容的には理解できますが、財政的な裏付けが望まれます。）（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・（内容的には理解できますが、財政的な裏付けが望まれます。）（評価者Ｂ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価尺度の「Ａ：100%」は現実的に妥当かどうか判断しかねます。（評

定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（４）個性・能力にあったキャリア教育と就職支援の充実：①学生の満足度向上】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・就職活動結果の高い満足度が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　２名	左記を選択した理由： ・就職活動結果の高い満足度が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　１名	左記を選択した理由： ・具体的な目標設定が望まれる。（評価者Ａ）
その他気づいた点：	
＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞	

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　２名	左記を選択した理由： ・ 詳細なプログラムが準備されており、その結果が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　１名	左記を選択した理由： ・ 具体的な行動目標の設定が望まれる。（評価者Ａ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 具体的な行動指標の設定が望まれる。（評価者Ａ） ・ 設定された評価指標は妥当と思われます。設定尺度の速やかな設定が望まれます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 適切である。（評価者Ｄ）

2015 年 1 月 22 日

2015 年度 関西学院大学自己点検･評価
＜C票＞学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

教育研究目標５

【（１）高大連携と入試改革の推進：①学力の３要素を多元的に評価する入学試験の改革】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・高大連携と入試改革により、本学にふさわしい生徒の確保が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・具体的な評価指標の設定が望まれる。（評価者Ａ） ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

１．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・本学にふさわしい生徒の確保が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　２名	左記を選択した理由： ・ 本学にふさわしい生徒の確保が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　１名	左記を選択した理由： ・ 具体的な行動計画の設定が望まれる。（評価者Ａ）
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 具体的な評価指標の設定が望まれる。（評価者Ａ） ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【（１）高大連携と入試改革の推進：②高大連携を通じた円滑な進学促進】

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・高大連携で、より本学が求める生徒の確保が期待される。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・高大連携で、より本学が求める生徒の確保が期待される。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 高大連携で、より本学が求める生徒の確保が期待される。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

2015 年 1 月 22 日

2015 年度 関西学院大学自己点検･評価
＜C票＞学内第三者評価結果【関西学院大学全体】

内部質保証

１．６年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と６年後のめざす姿（目標）との関係性 （※６年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・第三期認証評価を見据えた「自己点検・評価」の質向上が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

６年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・目標達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

２．行動計画

（１）＜行動計画（全体：個別行動計画群の全体体系について）＞

６年後のめざす姿（目標）と行動計画全体の関係性	
一連の行動計画は、６年後のめざす姿（目標）の達成に繋がるか。 （※行動計画が１つの場合も必要十分か確認のこと）	
「必要十分である」　３名	左記を選択した理由： ・第三期認証評価を見据えた「自己点検・評価」の質向上が期待されます。（評価者Ｂ）
「必要十分でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

＜行動計画全体に対する評価者からのコメント＞

（２）＜行動計画（個別）＞

【行動計画①】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ 第三期認証評価を見据えた「自己点検・評価」の質向上が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 意欲的な取組みである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画②】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・ ガイドラインの見直しによる質の向上が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ オーバースペックである。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【行動計画③】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ ＰＤＣＡサイクルを廻すことにより、第三期認証評価での高評価が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画④】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・各部局が自ら、「自己点検・評価」を見直すきっかけとなることが期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ） ・適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画⑤】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　３名	左記を選択した理由： ・内部質保証の理解・促進が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・オーバースペックである。（評価者Ｄ）

評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）

【行動計画⑥】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 第四期認証評価に関しては、把握しきれておらず判断できません。準備が必要であることは理解できます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	
行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 適切である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 適切である。（評価者Ｄ）

【行動計画⑦】

６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性	
６年後のめざす姿（目標）と行動計画の関係性 （※行動計画には、６年後のめざす姿（目標）達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」　　３名	左記を選択した理由： ・ 総合学園としての学校評価が期待されます。（評価者Ｂ）
「具体的でない」　　０名	左記を選択した理由：
その他気づいた点：	

行動計画の妥当性、適切性	
行動計画の内容 （行動計画の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、 ③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された６年後のめざす姿（目標）の内容は、妥当で適切と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
評価指標 （行動計画の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	＜評価者からのコメント＞ ・ 設定された評価指標、評価尺度は妥当と思われます。（評価者Ｂ） ・ 妥当である。（評価者Ｄ）
行動計画スケジュール （行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	＜評価者からのコメント＞ ・ 行動計画達成に向けたスケジュール設定は適切と思われます。（評価者Ｂ）